

奄美大島北部海域における後鰓類相の調査報告
**A RESEARCH REPORT OF OPISTHOBRANCHIA (MOLLUSCA:
GASTROPODA) IN NORTHERN PART OF AMAMI-OSHIMA ISLAND,
KAGOSHIMA, JAPAN**

By

中野理枝^{1,2}・朝倉知子²・池田紫²・石川雅教²・今本淳²・岩瀬南美^{2,3}・西田和記^{2,4}
堀江諒^{2,4}・山田久子²・渡井久美²

**Rie NAKANO^{1,2}, Tomoko ASAKURA², Yukari IKEDA², Masanori ISHIKAWA²,
Jun IMAMOTO², Minami IWASE^{2,3}, Kazuki NISHIDA^{2,4}, Makoto HORIE^{2,4},
Hisako YAMADA², Kumi WATAI²**

概要

Abstract

139 species of opisthobranchia were recorded from Amami-Oshima Island, Kagoshima Prefecture, Japan, during the workshop of All Japan Opisthobranch Association (NPO) on 19-25, April, 2016. And 23 species were collected by two of the authors, Jun Imamoto and Rie Nakano from April 2003 to January 2017.

はじめに

Introduction

後鰓類（ウミウシ）は軟体動物門腹足綱後鰓目に属する無脊椎動物で、鰓が心臓の後方に位置することからこの名がある。数種を除いて全て海産である。種数は多く、南北に長い海岸線を持つ日本近海では熱帯・亜熱帯種、温帯種、亜寒帯種が見られ、1,000を超える種が確認されている（小野 2004; 中野 2004; 中野他 2016）。

鹿児島県奄美群島の北部に位置する奄美大島は、面積 712.35 km²、海岸線長 461.1km を有する奄美群島最大の島である。島の東側は太平洋、西側は東シナ海に面している。周辺海域は黒潮の影響を受け、豊かなサンゴ礁が形成されている。奄美大島北部には、太平洋に面する手広海岸と東シナ海側の笠利湾の南部に位置する倉崎海岸、および笠利

-
1. 〒788-0333 高知県幡多郡大月町西泊 560 イ 黒潮生物研究所
Kuroshio Biological Research Foundation, 560 Nishidomari, Otsuki, Kochi 788-0333, Japan
e-mail: rie.nakano1213@gmail.com
 2. All Japan Opisthobranchs Association (NPO). 701, 2-4-3, Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0034, Japan
 3. Diving service Native Sea Amami, 423 Ashitoku, Tatsugo, Ohshima-gun, Kagoshima 894-0412, Japan
 4. Kagoshima City Aquarium, 3-1, Honko-Shinmachi, Kagoshima, Kagoshima 892-0814, Japan

湾沖に後鰓類の比較的多く見られる海域が散在する。笠利湾の湾奥には龍郷湾（ダイビングポイント名はピアテグリ）と呼ばれるエリアがあり、基質は泥地で、特異な後鰓類相が見られる。また笠利湾沖には倉崎海岸沖（ダイビングポイント名はバベル）、およびコモンスコロサンゴの発達したサンゴ場（ダイビングポイント名は大仏サンゴ）があり、海岸沿いで見られる種とは異なる種が観察される。

この北部海域で著者らは NPO 法人全日本ウミウシ連絡協議会の主催するワークショップで、2016 年 4 月 19 日から 25 日にかけて、主にスキューバにより 後鰓類相調査を行った。その結果をここに報告する。

また、2003 年 4 月から 2017 年 1 月にかけて、筆者の一人である今本及び中野によって行われた調査のうち、日本初記録種など特筆すべき種 23 種を本調査に抜粋して付記する。

材料と方法

Materials and Methods

I. 調査

2016 年 4 月 19 日から 25 日にかけて、鹿児島県奄美大島北部の西海岸海域 (Figure. 1) においてスキューバ潜水を行い、後鰓類を目視により調査した。観察した後鰓類は水深と水温、体長を記録した後で撮影し、必要に応じて採集した。採集した生体は 5%ホルマリンもしくは 70%アルコールで固定した。種リストは撮影記録をもとに作成した。

また、2003 年 6 月から 2017 年 1 月にかけての今本および中野によるスキューバでの調査は、奄美大島北部東側の手広海岸、西側の倉崎海岸を中心に、陸地からの潜水調査を継続的に行った。

II. 分類

本研究における分類体系は World Register of Marine Species (WoRMS) に従う。同定は基本的に撮影写真により、主に Nakano (2004)、Gosliner *et al.* (2015) および WoRMS に基づいて行った。

III. 和名の提唱

学名がない種については、近似種との混同など分類学的混乱を招かないためにも何らかの識別記号があるほうが望ましい。そこで未記載種のうち先行研究で既出の種、写真から同定が可能な種については新和名を提唱した。

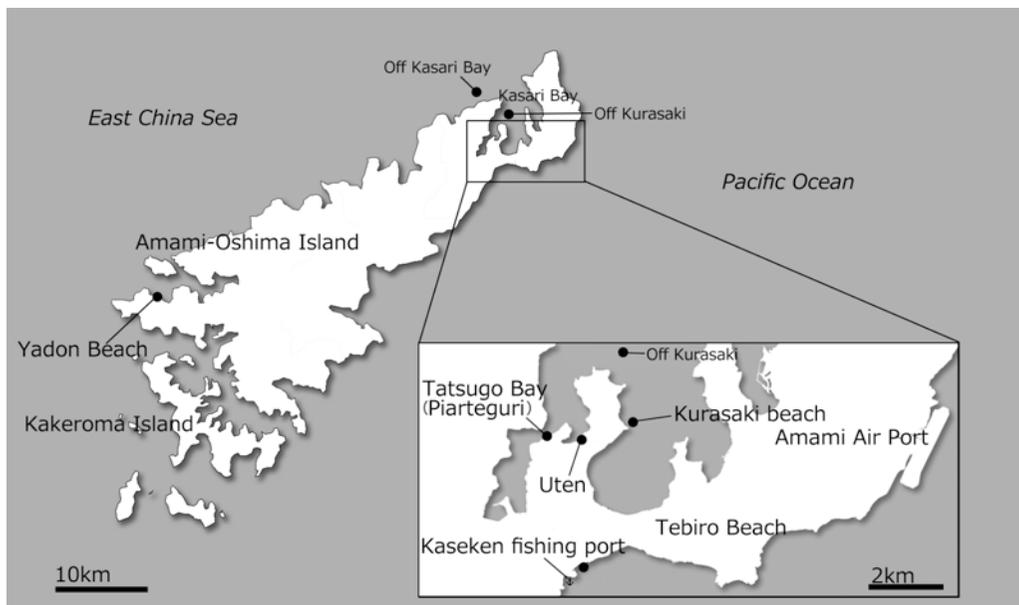


Figure 1. Research site in Amami-Oshima Island.

結果と考察

Results and Discussion

I. 記録された後鰓類 Summary of the recorded opisthobranchs

本調査で記録された後鰓類（頭楯類 12 種、無楯類 2 種、囊舌類 16 種、側鰓類 2 種、裸鰓類ドーリス類 78 種、裸鰓類イボウミウシ類 12 種、マツカサウミウシ類 3 種、ショウジョウウミウシ類 1 種、スギノハウミウシ類 4 種、タテジマウミウシ類 1 種、ミノウミウシ類 31 種）計 162 種を表 1 に示す。このうち 23 種はワークショップとは別に行われた今本および中野による陸地らの潜水調査（和名後に*を付記して示す）による。未記載種、日本初記録種など特筆すべき種については III において概説を試みた。

II. 特筆すべき観察 Remarks

本調査ではバロニアやマガタマモなどの海藻の細胞内に入り込んで摂餌を行う、内植食性または藻体内食と呼ばれる食性の囊舌類を観察した。内植食性囊舌類は、グレートバリアリーフ産の *Ercolania endophytophaga* Jensen, 1999 および *E. kencolesi* Stemmer & Wägele, 2007 が知られている。この 2 種はグアムや沖縄からも報告があることから、太平洋の広域に分布する種であると考えられる。今回奄美大島で観察された本種は上記 2 種とは外部形態が異なり、沖縄産の内植食性 *Ercolania* 3 種を報告した Hirano *et al.* (2013) における *Ercolania* sp. 1 と同種であると思われる。

III. 各種の概説 List of Species

Cephalaspidea 頭楯目 (Plate 1)

Haminoeidae ブドウガイ科

001. *Atys multistriatus* Schepman, 1913 アミメタマゴガイ (新称) (Plate 1A)

アティス属。頭楯は短く、側足は幅広く、貝殻の前半を三角形に覆う。外套膜は半透明の褐色で、全体に白い細点が散布する。赤色と細点と白色の斑紋が外套膜に散布する。貝殻は薄く、白色で、黄色の色素が後半に現れる。貝殻に網目状の彫刻がある。この網目模様から、新称としてアミメタマゴガイを提唱する。

Aglajidae カノコキシセワタ科

002. *Aglaja* sp. キホシキシセワタ (新称) (Plate 1B)

トウヨウキシセワタ属。体色は淡褐色で、灰白色や暗灰色の細点が全体に散布する。頭楯前部中央のみやや暗色。頭楯前端と側足、尾には黄色の小斑紋が散在する。側足前部の縁には黒褐色の細いラインが入る。全体に鈍い突起が散在する。色合いから、新称としてキホシキシセワタを提唱する。

Sacoglossa 囊舌目 (Plate 1)

Limapontiidae ハダカモウミウシ科

030. *Ercolania* sp. バロニアモウミウシ (新称) (Plate 1C)

アリモウミウシ属。身体は全体に抹茶色。背側突起は抹茶色で、先端は黄色になることもある。背側突起全体に白い細点が散布する。触角は基部から約半分が抹茶色。触角の先端と心囊域は白い。尾も抹茶色で、白い細点が散布する。バロニアの中にいたところを観察し、撮影はバロニアの表面に出たところで行った。餌生物にちなみ、新称としてバロニアモウミウシを提唱する。

Nudibranchia 裸鰓目

Euctenidiacea 真鰓亜目

Doridacea ドーリス下目 (Plate 1-3)

Goniodorididae ネコジタウミウシ科

036. *Trapania darvelli* Rudman, 1987 ダーベルウミウシ (新称) (Plate 1D)

ツガルウミウシ属。体色は一様に白色で、触角の襞、口触手、鰓葉、触角外側と鰓外側の突起は褐色。種小名にちなみ、新称としてダーベルウミウシを提唱する。

037. *Trapania* sp. ツガルウミウシ属の1種 (Plate 1E)

Trapania vitta および *T. gibbera* に似る。*T. vitta* は触角の襞、口触手、鰓は先端のみが褐色。口触手間は無色、触角と鰓の横の突起は先端が褐色。*T. gibbera* は、口触手間も褐色。

本個体は触角の襞と、口触手の先端のみが褐色。観察個体の口触手間は褐色であることで *T. gibbera* に似るが、触角と鰓の横の突起は黄色である。鰓、口触手間、突起の色が既知種と異なり、各突起の長さも *T. vitta* および *T. gibbera* に比べて短く、プロポーシオンも2種に比べて細長い。個体差の範疇かもしれないが、交雑種の可能性もあるため、ここでは不明種として扱う。

Gymnodorididae キヌハダウミウシ科

043. *Gymnodoris tuberculosa* Knutson & Gosliner, 2014 ツブツブキヌハダウミウシ (新称) (Plate 1F)

キヌハダウミウシ属。体色は半透明な白色。体表を小さな丸い突起が覆う。シロボンボンウミウシの幼体であるとの説もあったが、Knutson & Gosliner (2014) によって独立種とされた。食性は不明。体表を覆う小粒の突起から、新称としてツブツブキヌハダウミウシを提唱する。

045. *Gymnodoris* sp. 2 キヌハダウミウシ属の1種2 (Plate 1G)

体色は半透明で、全体に白色のかすれたような紋様でおおわれる。鰓が見当たらない。1個体のみでの観察で、詳細は不明。

046. *Gymnodoris* sp. 3 キヌハダウミウシ属の1種3 (Plate 1H)

体色は半透明の白色で、全体に朱色の斑紋が散布する。頭部前縁が広がり腹足につながる。鰓は直線的で先端が朱色。Gosliner *et al.* (2015) の *Gymnodoris* sp. 52 および sp. 55 と近似する。

Polyceridae フジタウミウシ科

048. *Polycera* sp. フジタウミウシ属の1種 (Plate 2A)

フジタウミウシ属。外套膜の周縁に不規則な大きさの半透明な突起が並ぶ点などフジタウミウシ属の特徴を呈する。中野 (2004) のフジタウミウシ属の1種の若齢個体の可能性もあり、1個体のみでの同定は困難。

049. *Plocamopherus maculapodium* Vallés & Gosliner, 2006 アカネヒカリウミウシ (新称) (Plate 2B)

ヒカリウミウシ属。体色はほぼ一様な茶褐色から赤褐色で、白色の小斑紋が多少入る。背面縁に白色のラインが入ることもある。このライン上に白色の発光瘤が左右対称に3対並ぶ。体側面下部と足縁は淡く、赤褐色の斑点がある。鰓の上半分は白色で、褐色に縁どられる。体色から、新称としてアカネヒカリウミウシを提唱する。

Discodorididae ツズレウミウシ科

054. *Thordisa* sp. ピロウドウミウシ属の1種 (Plate 2C)

ピロウドウミウシ属。体色は暗赤色で、背面は白色の突起でおおわれる。触角と鰓は褐色で、白色の色素が見られる。Gosliner *et al.* (2015) の *Thordisa* sp. 1 と同種の可能性がある。

055. *Platydoris sanguinea* Bergh, 1905 スオウウミウシ (新称) (Plate 2D)

体地色は暗赤色（蘇芳色）で、背面に白色の細点が散在する。細点が集まり斑紋状になった箇所が左右対称に2-3対ある個体も見られる。外套膜の周縁は淡色の斑紋で断続的に、または明瞭に縁どられる。触角は暗褐色で、先端は白色。体色にちなみ、新称としてスオウウミウシを提唱する。

Chromodorididae イロウミウシ科

065. *Ardeadoris symmetrica* (Rudman, 1990) アカネサスウミウシ (新称) (Plate 2E)

アルデアドリス属。背面は半透明の灰黄色で、触角間と鰓の前後には左右対称に灰白色の斑紋がある。外套膜の周縁は赤い細線で縁どられ、その内側には白色帯がある。触角と触角柄は暗赤色（茜色）。鰓は背面と同色で、暗赤色に縁どられる。外套膜周辺の色と背面の色から、新称としてアカネサスウミウシを提唱する。

066. *Ardeadoris tomsmithi* (Bertsch & Gosliner, 1989) キンゴマイロウミウシ (新称) (Plate 2F)

背面は褐色で、白色から灰黄色の小さな斑紋が、胡麻をふりかけたように散布する。外套膜の周縁は波打ち、黄色く縁どられる。周縁が白い個体も見られる。触角は褐色または青黒色。鰓は青黒色。特徴的な斑紋から、新称としてキンゴマイロウミウシを提唱する。

077. *Goniobranchus preciosus* (Kelaart, 1858) ハスイロウミウシ (新称) (Plate 2G)

ゴニオブランカス属。背面は通常は一様に白色だが、半透明な白色の背面に、白いシミ状斑紋のある個体も見られる。背面の周縁は外側から順に白色、赤紫色、黄色に縁ど

られる。触角と鰓は赤紫色。時に淡色の個体も見られる。泥地または砂泥地でよく観察される。仏教語「泥中の蓮」より、新称としてハスイロウミウシを提唱する。

082. *Goniobranchus* sp. ウスクレナイウミウシ (新称) (Plate 2H)

外套膜周縁は赤色、次いで黄色になり、その内側は不透明な白色。外套膜中央は薄紅色。触角と鰓はともに赤色で白色の小斑紋が散布する。最大で 10 mm 程度の小型種。体色にちなみ、新称としてウスクレナイウミウシを提唱する。

086. *Hypselodoris emma* Rudman, 1977 エマイロウミウシ* (新称) (Plate 3A)

アオウミウシ属。体地色は白色から黄白色。背面には紫色から赤紫色の縦線が 3 本入る。両触角の間も同色の線が入る。外套膜の周縁と腹足の周縁も紫色線で縁どられる。触角と鰓はあざやかな赤橙色。触角の先端は白い。触角と鰓の間の背面は褐色をおびる個体が多い。種小名から、新称としてエマイロウミウシを提唱する。

092. *Hypselodoris* sp. 1. シロウネイロウミウシ* (新称) (Plate 3B)

背面は淡栗色で、4 本の白色線が縦走り、その合間に紫色の小紋が散る。センチロウミウシの色彩型の可能性は否定できないが、外套膜周縁の色帯が太く、内側の白色域と波打つような模様を構成する点、および分子系統解析の結果から Gosliner *et al.* (2008) は独立種とした。本研究では未記載種と扱い、新称としてシロウネイロウミウシを提唱する。

093. *Hypselodoris* sp. 2 コナユキイロウミウシ (新称) (Plate 3C)

背面は白色で、薄い褐色の細い縦線が多数走り、間を白色の小斑紋が散布する。外套膜周縁には紫色の斑紋が並ぶ。触角は白く、朱色の輪が 3 本入る。鰓は白く、朱色の色素が入る。白色の小斑紋を粉雪に見立て、新称としてコナユキイロウミウシを提唱する。

102. *Mexichromis lemniscata* (Quoy & Gaimard, 1832) リボンイロウミウシ* (新称) (Plate 3D)

レンゲウミウシ属。背面の周縁は白色からクリーム色の色帯で縁どられる。背面は薄紫色で、白色縦帯が 3 本入る。中央の縦帯は長く、触角間から伸びて鰓孔を囲む。両脇の縦帯は黄色みをおび、幅も狭く短い。触角は赤く、上半分が紫色。鰓は上半分が紫色。種小名にちなみ、新称としてリボンイロウミウシを提唱する。

105. *Verconia laboutei* Rudman, 1986 ラボウトウミウシ (新称) (Plate 3E)

シラユキウミウシ属。背面は黄色で、外套腺が白く透けて見える。触角は赤紫色。鰓は半透明で、赤紫色に縁どられる。黄色の被覆状のカイメンを食する。種小名にちなみ、新称としてラボウトウミウシを提唱する。

110. Chromodorididae gen. et sp. indet. 属不明のイロウミウシ科の種* (Plate 3F)

背面は薄い灰紫色で、背面正中線上と周縁は紫色。外套膜周縁は朱色の色帯で囲まれる。触角と鰓は半透明で、中央から先端にかけて白い。小型種である点と頭部が丸みを帯びておらず直線的な点でシノビイロウミウシ属の可能性があるが、現状では不明種とする。

Nudibranchia 裸鰓目

Dexiarchia (=Actenidiacea) 無鰓亜目

Cladobranchia 下目

[unassigned] Cladobranchia 所属不明の Cladobranchia 小目 (Plate 3-4)

Dotidae マツカサウミウシ科

123. *Kabeiro phasmida* Shipman and Gosliner, 2015 ナナフシウミウシ* (新称) (Plate 3G)

ナナフシウミウシ属 (新称)。マツサカウミウシ属の種よりも細長く、背側突起も細長い。心囊域も広い。本種の体色は黄色～クリーム色または褐色で、不透明な白色の突起が背面に並ぶ。背側突起も黄色～クリーム色または褐色で、不規則な突起におおわれる。触角は触角鞘より長く、黄色～クリーム色で、表面を白色の細点におおわれる。属名にちなみ、新称としてナナフシウミウシを提唱する。

124. *Kabeiro* sp. 1 ナナフシウミウシ属の 1 種 1* (Plate 3H)

ナナフシウミウシに近似するが、触角が短い。

125. *Kabeiro* sp. 2 ナナフシウミウシ属の 1 種 2* (Plate 4A)

体色は着生するカヤ類と同じ若葉色で、背側突起は扁平な木の葉状を呈し、表面は不規則な突起におおわれる。

Nudibranchia 裸鰓目

Dexiarchia (=Actenidiacea) 無鰓亜目

Cladobranchia 下目

Dendronotida スギノハウミウシ小目 (Plate 4)

Tritoniidae ホクヨウウミウシ科

129. *Lomanotus vermiformis* Eliot, 1908 ゼンチュウウミウシ* (新称) (Plate 4B)

ロマノータス属。本種は種小名が示すように体が非常に細長い。狭い溝のある足と粘液を用いて、ヒドロ虫の *Lytocarpus philippinus* に着生する。種小名から、新称としてゼンチュウウミウシを提唱する。

Family Scyllaeidae オキウミウシ科

130. *Crosslandia* sp. シロスジコチョウウミウシ* (新称) (Plate 4C)

コチョウウミウシ属。背側突起が2対であることからオキウミウシ属と扱ってきたが、Gosliner *et al.* (2015) に従いコチョウウミウシ属の種とする。体色は褐色がかった緑色で、全体に白色の細いラインでおおわれる。この特徴から新称としてシロスジコチョウウミウシを提唱する。

Nudibranchia 裸鰓目

Dexiarchia (=Actenidiacea) 無鰓亜目

Cladobranchia 下目

Aeolidida ミノウミウシ小目 (Plate 4-6)

Eubranchidae ホリミノウミウシ科

136. *Eubranchus mandapamensis* (Rao, 1968); ツノトゲホリミノウミウシ* (新称) (Plate 4D)

ホリミノウミウシ属。体地色は半透明な明るい褐色。全体は茶色をおびた黄色の斑紋と白い斑紋でおおわれる。背側突起は2ヶ所で膨らむ。背側突起先端は、4-6個の赤色の細点を含んだ淡青色の色帯をはさむように2本の黄色の色輪がある。触角には不定形の突起がある。この突起にちなみ、新称としてツノトゲホリミノウミウシを提唱する。近似の *Eubranchus rubropunctatus* Edmunds, 1969 ツノワホリミノウミウシ (新称) は、触角に輪状の突起がある。

138. *Eubranchus* sp. 1 ピナクルミノウミウシ* (新称) (Plate 4E)

体色は半透明で、全体に不透明な白色の小さな斑紋が散布する。部分的に赤色と朱色の斑紋が散在する。触角は棍棒状。口触手は短く、前足隅は短く目立たない。背側突起は2ヶ所で膨らみ、先端に近い膨らみのほうが大きく、先端近くでいったん円筒形となり、先端は急激に先細りになる。中腸腺は白色で、円筒形付近に赤色の斑紋が入る。この特徴的な斑紋から、新称としてピナクル (=尖塔) ミノウミウシを提唱する。

139. *Eubranchus* sp. 2 ホリミノウミウシ属の1種 2 (Plate 4F)

体色は半透明な白色で、全体に白色の細点が散布する。触角は紫色。口触手は基部から中ほどにかけては紫色で中ほどから先端にかけては不透明な白色。背側突起は紡錘形で、基部は半透明。基部から4分の1ほどに赤色の色素が並び、その上から先端にかけてはクリーム色で、先端は半透明な白色。1個体のみの確認。

Tergipedidae オシヨロミノウミウシ科

140. *Cuthona* sp. 1 オシヨロミノウミウシ属の1種 1 (Plate 4G)

オシヨロミノウミウシ属。体色は白色。背側突起の基部から中ほどまでも白色、触角と背側突起の上半分は明るい赤色で、途中やや朱色がかかる。短めの口触手は白色。

141. *Cuthona* sp. 2 オシヨロミノウミウシ属の1種 2 (Plate 4H)

体色は白色。背側突起は細長く、背面と同色。触角の先端と口触手は赤色。

142. *Trinchesia acinosa* (Risbec, 1928) オレンジミノウミウシ (新称) (Plate 5A)

トリンケシア属。体色は白色で、背側突起は明るい朱色。この背側突起の色にちなみ、新称としてオレンジミノウミウシを提唱する。

144. *Caloria* sp. リンカミノウミウシ* (新称) (Plate 5B)

ヒブサミノウミウシ属。体は赤褐色から褐色で、頭部から尾部にいたる背面正中線上に白色帯がある。稀にこの白色帯を欠く個体もある。体側面にも白色の細点が散在する。背側突起は短く、半透明で、白色点が散布し、中程が青い。触角にはいびつな輪状突起が3つある。口触手は体地色と同色で先端が白色。前足隅は触手状。背側突起の青色を燐火に見立て、新称としてリンカミノウミウシを提唱する。

Facelinidae ヨツスジミノウミウシ科**146. *Herviella mietta* Er. Marcus & J. B. Burch, 1965 ミエッタミノウミウシ* (新称) (Plate 5D)**

ヤツミノウミウシ属。原記載には2型が記されている。1番目の型は体地色が半透明で、背面は白色の顆粒状突起でおおわれ、頭部は黒く、触角には黒い色帯があり、口触手にも黒色部分がある。背側突起の中腸腺は黄色く、刺胞嚢は白い。2番目の型は体地色が暗色で、背面と腹足の上半部が黒色で、腹足の下半部は白い。口触手は黒色の細線が通り、触角には黒色の色輪がある。眼域と口触手の間には明るい部分があり、背側突起は暗色で、刺胞嚢は白色。種小名から、新称としてミエッタミノウミウシを提唱する。

147. *Herviella* sp. ヤツミノウミウシ属の1種* (Plate 5D)

ミエッタミノウミウシと似た環境から見出された。ミエッタミノウミウシの1型である可能性がある。

149. *Phidiana* sp. フィディアナ属の1種 (Plate 5C)

フィディアナ属。触角の形態、背面の紋様、背側突起の基部に暗色の斑紋がある点などでシャクジョウミノウミウシに近似するが、背側突起の上部が白く、黄色の色輪がある点で異なる。

150. *Pteraeolidia cf. semperi* (Bergh, 1870) B sensu Yorifuji *et al.*, 2012 オオムカデミノウミウシ* (新称) (Plate 5E)

ムカデミノウミウシ属。体は細長く、青色や褐色をおびた半透明。背側突起の各群は扇状に並び、色は青灰色や淡褐色など色彩変異に富む。背側突起は脱落しやすい。前足隅は触手状。体表近くに褐虫藻を共生させる。長年、ムカデミノウミウシの学名とされてきた *Pteraeolidia ianthina* (Angas, 1864) は、オーストラリア、シドニー近海に生息する種を指すことが示され、その他の種名には後行異名の *P. semperi* (Bergh, 1870) があてはめられた (Wilson & Burghardt 2015)。しかし、日本近海には少なくとも2種の本属ウミウシが生息することも明らかになっており (Yorifuji *et al.* 2012)、現在 *P. semperi* とされている種内に複数種が含まれることは既に明白であるため、どの種がこの種名を担うかについては、今後、Bergh (1870) のフィリピン産個体の記載との精査が待たれる。和名のムカデミノウミウシは、提唱者である馬場 (1949) の記述との照合から、Yorifuji *et al.* (2012) の示す A 種に該当する。本種は Yorifuji *et al.* (2012) の示す B 種に相当する。現在までに、奄美大島、慶良間諸島、フィリピンにおける生息が確認されている。ムカデミノウミウシに比べて、背側突起基部が大きく肥厚する。背側突起は先端に向かって丸くカールする。腹足縁や口の周囲、口触手に小さな白斑が散る個体が多い。200 mm に達する。本種が本属の中で最も大型になることから、新称としてオオムカデミノウミウシを提唱する。

Aeolidiidae オオミノウミウシ科

151. *Baeolidia variabilis* Carmona, Pola, Gosliner & Cervera, 2014 チャカミノモドキ* (新称) (Plate 5G)

バエオリディア属。体は褐色で、背面の正中線上には不透明な白色の斑紋が続く。背側突起は不規則な大きさとで白く、褐色の不定型なシミ状の斑紋が散在する。触角は体長に比して大きく、褐色で、全体に突起を生じる。前足隅は丸い。Rudman (2004) によって *Berghnia chaka* Gosliner, 1985 = *Baeolidia chaka* チャカミノウミウシ (新称) とされたが、*B. chaka* は南アフリカ産であること、前足隅が丸いこと、口触手が長いことから別種と考え、本種と同定する。同定に至る経緯にちなみ、新称としてチャカミノモドキを提唱する。

152. *Baeolidia riae* Carmona *et al.*, 2014 ウテンミノウミウシ* (新称) (Plate 5H)

体は淡褐色で、背面には不透明な白色の斑紋と褐色の細点が入る。背側突起は不規則な大きさとで半透明、共生する褐虫藻が見える。触角はゆるく湾曲し平滑。前足隅は丸い。模式産地の宇天にちなみ、新称としてウテンミノウミウシを提唱する。

154. *Cerberilla annulata* (Quoy & Gaimard, 1832) マエダカスミノウミウシ* (新称) (Plate 6A)

カスミノウミウシ属。体地色は白く、腹足は青みをおびた半透明。背側突起は白く、

中程の基部に近い側に黒色の、先端に近い側に黄色の色輪が近接して入る。成体の背側突起は細長く、色輪は一樣に細いが、口触手は白色で、上側が腹足よりもあざやかな青色。頭部は眼域を除いて黒色でおおわれ、触角の前側がやや黄染する。70 mm に達する。観察地での本種の発見者である前田太郎氏にちなみ、新称としてマエダカスミミノウミウシを提唱する。

Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 属不明のミノウミウシ小目の種

156. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 1 リーフミノウミウシ* (新称) (Plate 6B)

体色は青色で、背面前半は青灰色の細点が散布する。背面中ほどは灰色。背側突起基部から中ほどにかけては青緑色で、青灰色の細点が散布する。内側の背側突起が褐色を帯びる個体もある。触角と背側突起の先端は灰褐色。オショロミノウミウシ属の種である可能性がある。体色がサンゴ礁の浅瀬を想起させることから、新称としてリーフミノウミウシを提唱する。

157. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 2 ミノウミウシ小目の1種 2* (Plate 6C)

体は細長く半透明で、全体に不透明な白色の細点が散布する。背側突起の形態はサキシマミノウミウシ属の種の特徴を示しているが、頭部の形態（触角・口触手・前足隅）はオショロミノウミウシ属の種の特徴を示している。

158. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 3 ネギシミノウミウシ* (新称) (Plate 6D)

全体に半透明の白色で、眼域を除く頭部、背面および触角の先端から中ほどにかけては不透明な白色。背側突起も半透明で、中腸腺は緑褐色。オショロミノウミウシ属の種である可能性が高い。観察個体の中腸腺の色彩（根岸色＝緑褐色）にちなみ、新称としてネギシミノウミウシを提唱する。

159. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 4 ミノウミウシ小目の1種 4* (Plate 6E)

背面の正中線上に1本ラインがある点で *Unidentia angelvaldesi* Millen & Hermosillo, 2012 アンヘルミノウミウシ（新称）に近似するが背側突起の色彩が異なる。

160. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 5 クサマミノウミウシ* (新称) (Plate 6F)

体は半透明な灰色で、背面には不透明で不定形な白色の小斑紋が散在する。触角は基部から中ほどにかけてが半透明、中ほどが朱色で、先端は不透明な白色。口触手は不透明な白色。背側突起は基部から中ほどにかけてが褐色で、中ほどはクリーム色、先端は不透明な白色。背側突起には真紅の斑紋が散在する。オショロミノウミウシ属の可能性が高い。真紅の水玉模様が画家の草間彌生の作品を想起させることから、新称としてクサマミノウミウシを提唱する。

161. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 6 ガヒミノウミウシ* (新称) (Plate 6G)

小野 (2004) の GLAUCIDAE sp. 9 アオミノウミウシ科の 1 種 8 と同種。Facelinidae ヨツスジミノウミウシ科の種であろう。日本初記録地である慶良間諸島嘉比島にちなみ、新称としてガヒミノウミウシを提唱する。

162. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 7 キツネビミノウミウシ* (新称) (Plate 6H)

小野 (2004) の GLAUCIDAE sp. 4 アオミノウミウシ科の 1 種 3 と同種。Facelinidae ヨツスジミノウミウシ科の種であろう。体色を狐火に見立て、新称としてキツネビミノウミウシを提唱する。

Table 1. List of Opisthobranchs from Amami-Oshima Island.

Infraclass Opisthobranchia 後總下綱	
Order Cephalaspidea 頭楯目	
Superfamily Haminoeidea	ブドウガイ上科
Family Haminoeidae	ブドウガイ科
Genus <i>Alys</i>	タマゴガイ属
001 <i>Alys multistriatus</i>	Schepman, 1913 アミメタマゴガイ
Superfamily Philinoidea	キセワタ上科
Family Aglajidae	カノコキセワタ科
Genus <i>Aglaja</i>	トウヨウキセワタ属
002 <i>Aglaja</i> sp.	キホシキセワタ
Genus <i>Chelidonura</i>	ニシキツバメガイ属
003 <i>Chelidonura amoena</i>	Bergh, 1905 コナユキツバメガイ
004 <i>Chelidonura fulvipunctata</i>	(Baba, 1938) アカボシツバメガイ
005 <i>Chelidonura hirundinina</i>	(Quoy & Gaimard, 1833) ニシキツバメガイ
006 <i>Chelidonura inornata</i>	Baba, 1949 オハグロツバメガイ
Genus <i>Odontogljaja</i>	エンビキセワタ属
007 <i>Odontogljaja guamensis</i>	Rudman, 1978 エンビキセワタガイ
008 <i>Odontogljaja</i> sp.	ヒシモンエンビキセワタ
Family Gastropteridae	ウミコチョウ科
Genus <i>Sagaminopteron</i>	ムラサキウミコチョウ属
009 <i>Sagaminopteron ornatum</i>	Tokioka & Baba, 1964 ムラサキウミコチョウ
010 <i>Sagaminopteron psychedelicum</i>	Carlson & Hoff, 1974 トウモンウミコチョウ
Genus <i>Siphopteron</i>	キマダラウミコチョウ属
011 <i>Siphopteron brunneomarginatum</i>	(Carlson & Hoff, 1974) オレンジウミコチョウ
012 <i>Siphopteron flavum</i>	(Tokioka & Baba, 1964) キイロウミコチョウ
Order Anaspidea 無楯(アメフラン)目	
Superfamily Aplysioidae	アメフラン上科
Family Aplysiidae	アメフラン科
Genus <i>Aplysia</i>	アメフラン属
013 <i>Aplysia oculifera</i>	(A. Adams & Reeve, 1850) ミドリアメフラン
014 <i>Aplysia parvula</i>	Guilding in Mörch, 1863 クロヘリアメフラン
Order Sacoglossa 囊舌目	
Suborder Plakobranchacea	チドリミドリガイ亜目
Superfamily Plakobranchioidea	チドリミドリガイ上科
Family Plakobranchidae	チドリミドリガイ科
Genus <i>Elysia</i>	ゴクラクミドリガイ属
015 <i>Elysia lobata</i>	Gould, 1852 トカラミドリガイ
016 <i>Elysia ornata</i>	(Swainson, 1840) コノハミドリガイ
017 <i>Elysia pusilla</i>	(Bergh, 1872) ウチワミドリガイ
018 <i>Elysia thompsoni</i>	Jensen, 1993 ツマムラサキミドリガイ
019 <i>Elysia asbecki</i>	Wägele, Stemmer, Burghardt & Händeler, 2010 ツノクロミドリガイ
020 <i>Elysia</i> sp. 1	アカボシミドリガイ
021 <i>Elysia</i> sp. 2	シャクトリミドリガイ
Genus <i>Thuridilla</i>	アデヤカミドリガイ属
022 <i>Thuridilla albopustulosa</i>	Gosliner, 1995 スイートジェリーミドリガイ
023 <i>Thuridilla flavomaculata</i>	Gosliner, 1995 チャマダラミドリガイ
024 <i>Thuridilla kathae</i>	Gosliner, 1995 トウアカミドリガイ
025 <i>Thuridilla livida</i>	(Baba, 1955) チゴミドリガイ
026 <i>Thuridilla splendens</i>	(Baba, 1949) ハナミドリガイ
027 <i>Thuridilla vataae</i>	(Risbec, 1928) ヨソラミドリガイ
Genus <i>Plakobranchus</i>	チドリミドリガイ属
028 <i>Plakobranchus ocellatus</i>	Van Hasselt, 1824 チドリミドリガイ

Table 1. continued

Order Sacoglossa 囊舌目	
Superfamily Limapontioidea	ハダカモウミウシ上科
Family Limapontiidae	ハダカモウミウシ科
Genus <i>Costasiella</i>	オオアリモウミウシ属
029 <i>Costasiella paweli</i>	Ichikawa, 1993 クサイロモウミウシ
Genus <i>Ercolania</i>	アリモウミウシ属
030 <i>Ercolania</i> sp.	パロニアモウミウシ
Order Pleurobranchomorpha 側鰓目	
Superfamily Pleurobranchioidea	カメノコフシエラガイ上科
Family Pleurobranchidae	カメノコフシエラガイ科
Genus <i>Berthella</i>	シロフシエラガイ属
031 <i>Berthella martensi</i>	(Pilsbry, 1896) チギレフシエラガイ
Genus <i>Pleurobranchus</i>	ゼニガタフシエラガイ属
032 <i>Pleurobranchus peronii</i>	Cuvier, 1804 カメノコフシエラガイ
Order Nudibranchia 裸鰓目	
Suborder Euctenidiacea 真鰓亜目	
Infraorder Doridacea ドーリス下目	
Superfamily Onchidoridoidea	ラメリウミウシ上科
Family Goniodorididae	ネコジタウミウシ科
Genus <i>Goniodoris</i>	ネコジタウミウシ属
033 <i>Goniodoris</i> sp. 1	ケラマコネコウミウシ
Genus <i>Goniodoridella</i>	コトヒメウミウシ属
034 <i>Goniodoridella savignyi</i>	Pruvot-Fol, 1933 コトヒメウミウシ
Genus <i>Trapania</i>	ツガルウミウシ属
035 <i>Trapania euryeia</i>	Gosliner & Fahey, 2008 モウサンウミウシ
036 <i>Trapania darvelli</i>	Rudman, 1987 ダーベルウミウシ
037 <i>Trapania</i> sp. 2	ツガルウミウシ属の1種 2
Superfamily Polyceroidea	フジタウミウシ上科
Family Aegiridae	センヒメウミウシ科
Genus <i>Notodoris</i>	ノトドリス属
038 <i>Notodoris citrinus</i>	(Bergh, 1875) レモンウミウシ
Family Gymnodorididae	キヌハダウミウシ科
Genus <i>Gymnodoris</i>	キヌハダウミウシ属
039 <i>Gymnodoris citrina</i>	(Bergh, 1875) キヌハダモドキ
040 <i>Gymnodoris impudica</i>	(Rüppell & Leuckart, 1830) キイボキヌハダウミウシ
041 <i>Gymnodoris okinawae</i>	Baba, 1936 オキナワキヌハダウミウシ
042 <i>Gymnodoris nigricolor</i>	Baba, 1960 スミノメキヌハダウミウシ
043 <i>Gymnodoris tuberculosa</i>	Knutson & Gosliner, 2014 ツブツブキヌハダウミウシ
044 <i>Gymnodoris</i> sp. 1	アマミキヌハダウミウシ
045 <i>Gymnodoris</i> sp. 2	キヌハダウミウシ属の1種 2
046 <i>Gymnodoris</i> sp. 3	キヌハダウミウシ属の1種 3
Family Hexabanchidae	ミカドウミウシ科
Genus <i>Hexabanchus</i>	ミカドウミウシ属
047 <i>Hexabanchus sanguineus</i>	(Rüppell & Leuckart, 1828) ミカドウミウシ
Family Polyceridae	フジタウミウシ科
Subfamily Policerinae	フジタウミウシ亜科
Genus <i>Polycera</i>	フジタウミウシ属
048 <i>Polycera</i> sp.	フジタウミウシの1種
Genus <i>Plocamopherus</i>	ヒカリウミウシ属
049 <i>Plocamopherus maculapodium</i>	Vallès & Gosliner, 2006 アカネヒカリウミウシ
Genus <i>Kaloplocamus</i>	エダウミウシ属
050 <i>Kaloplocamus ramosus</i>	(Cantraine, 1835) エダウミウシ
Subfamily Nembrothinae	クロスジリュウグウウミウシ亜科
Genus <i>Roboastra</i>	リュウグウウミウシ属
051 <i>Roboastra gracilis</i>	(Bergh, 1877) リュウグウウミウシ
052 <i>Roboastra luteolineata</i>	(Baba, 1936) イシガキリュウグウウミウシ
Superfamily Doridoidea	ドーリス上科
Family Actinocyclusidae	アマクサウミウシ科
Family Discodorididae	ツツレウミウシ科
Genus <i>Discodoris</i>	ツツレウミウシ属
053 <i>Discodoris boholiensis</i>	Bergh, 1877 ヒラツツレウミウシ
Genus <i>Thordisa</i>	ピロウドウミウシ属
054 <i>Thordisa</i> sp.	ピロウドウミウシ属の1種
Genus <i>Platydoris</i>	クモガタウミウシ属
055 <i>Platydoris sanguinea</i>	Bergh, 1905 スオウウミウシ
Genus <i>Rostanga</i>	イノウミウシ属
056 <i>Rostanga</i> sp. 4	ムラサキアミメウミウシ
Genus <i>Paradoris</i>	ツルガウミウシ属
057 <i>Paradoris</i> sp. 1	マイチヨウウミウシ
Genus <i>Halgerda</i>	ヒオドシウミウシ属
058 <i>Halgerda brunneomaculata</i>	Carlson & Hoff, 1993 テンテンウミウシ
059 <i>Halgerda carlsoni</i>	Rudman, 1978 コンペイトウウミウシ
060 <i>Halgerda diaphana</i>	Fahey & Gosliner, 1999 キスジカンテンウミウシ
061 <i>Halgerda tessellata</i>	(Bergh, 1880) モザイクウミウシ

Table 1. continued

Order Nudibranchia 裸蛞蝓

Family Cadlinidae	カドリノウミウシ科
Genus <i>Aldisa</i>	チシオウミウシ属
062 <i>Aldisa</i> sp.	イチゴジヤムウミウシ
Family Chromodorididae	イロウミウシ科
Genus <i>Aldeadoris</i>	アルデアドリス属
063 <i>Aldeadoris angustolutea</i>	Rudman, 1990 ヘリシロイロウミウシ
064 <i>Ardeadoris cruenta</i>	(Rudman, 1986) アカテンイロウミウシ
065 <i>Ardeadoris symmetrica</i>	(Rudman, 1990) アカネサスウミウシ
066 <i>Ardeadoris tomsmithi</i>	(Bertsch & Gosliner, 1989) キンゴマイロウミウシ
Genus <i>Cadlinella</i>	イガグリウミウシ属
067 <i>Cadlinella ornatissima</i>	(Risbec, 1928) イガグリウミウシ
Genus <i>Chromodoris</i>	コモンウミウシ(シロウミウシ)属
068 <i>Chromodoris colemani</i>	Rudman, 1982 コールマンウミウシ
069 <i>Chromodoris magnifica</i>	(Quoy & Gaimard, 1832) シライトウミウシ
070 <i>Chromodoris strigata</i>	Rudman, 1982 シボリイロウミウシ
071 <i>Chromodoris lineolata</i>	(van Hasselt, 1824) ホソスジイロウミウシ
Genus <i>Goniobranchus</i>	ゴニオブランカス属
072 <i>Goniobranchus albopunctatus</i>	(Garrett, 1879) ホムライロウミウシ
073 <i>Goniobranchus coi</i>	(Risbec, 1956) シラナミイロウミウシ
074 <i>Goniobranchus fidelis</i>	(Kelaart, 1858) フジナミウミウシ
075 <i>Goniobranchus geometricus</i>	(Risbec, 1928) キカモヨウウミウシ
076 <i>Goniobranchus kuniei</i>	(Pruvot-Fol, 1930) オトヒメウミウシ
077 <i>Goniobranchus preciosus</i>	(Kelaart, 1858) ハスイロウミウシ
078 <i>Goniobranchus rubrocornutus</i>	(Rudman, 1985) ウチナミシラヒメウミウシ
079 <i>Goniobranchus rufomaculata</i>	(Pease, 1871) ヒメコモンウミウシ
080 <i>Goniobranchus setoensis</i>	(Baba, 1938) セトイロウミウシ
081 <i>Goniobranchus sinensis</i>	(Rudman, 1985) シラヒメウミウシ
082 <i>Goniobranchus</i> sp.	ウスクレナイウミウシ
Genus <i>Hypselodoris</i>	アオウミウシ属
083 <i>Hypselodoris apolegma</i>	(Yonow, 2001) シンデレラウミウシ
084 <i>Hypselodoris bollandi</i>	Gosliner & Johnson, 1999 ボーランドウミウシ
085 <i>Hypselodoris bullockii</i>	(Collingwood, 1881) ソウゲイロウミウシ
086 <i>Hypselodoris emma</i>	Rudman, 1977 エマイロウミウシ
087 <i>Hypselodoris infucata</i>	(Rüppell & Leuckart, 1831) ホシゾラウミウシ
088 <i>Hypselodoris maculosa</i>	(Pease, 1871) センテンイロウミウシ
089 <i>Hypselodoris maritima</i>	(Baba, 1949) リュウモンイロウミウシ
090 <i>Hypselodoris purpureomaculosa</i>	Hamatani, 1995 サビウライロウミウシ
091 <i>Hypselodoris whitei</i>	(Adams & Reeve, 1850) クチナシイロウミウシ
092 <i>Hypselodoris</i> sp. 1.	シロウネイロウミウシ
093 <i>Hypselodoris</i> sp. 2.	コナユキイロウミウシ
Genus <i>Risbecia</i>	マダライロウミウシ属
094 <i>Risbecia tryoni</i>	(Garrett, 1873) マダライロウミウシ
Genus <i>Doriprismatica</i>	ドリプリスマチカ属
095 <i>Doriprismatica atomarginata</i>	(Cuvier, 1804) キイロウミウシ
Genus <i>Glossodoris</i>	イロウミウシ属
096 <i>Glossodoris cincta</i>	(Bergh, 1888) モンジャウミウシ
097 <i>Glossodoris rufomarginata</i>	(Bergh, 1890) キヤラメルウミウシ
098 <i>Glossodoris pallida</i>	(Rüppell & Leuckart, 1828) シロタエイロウミウシ
Genus <i>Mexichromis</i>	レンゲウミウシ属
099 <i>Mexichromis mariet</i>	(Crosse, 1872) クリヤイロウミウシ
100 <i>Mexichromis multituberculata</i>	(Baba, 1953) レンゲウミウシ
101 <i>Mexichromis pusilla</i>	(Bergh, 1874) キベリアカイロウミウシ
102 <i>Mexichromis lemniscata</i>	(Quoy & Gaimard, 1832) リボンイロウミウシ
Genus <i>Ceratosoma</i>	ニシキウミウシ属
103 <i>Ceratosoma trilobatum</i>	(J.E. Gray, 1827) ニシキウミウシ
Genus <i>Miamira</i>	ミアミラウミウシ属
104 <i>Miamira sinuata</i>	(van Hasselt, 1824) ヨセナムウミウシ
Genus <i>Verconia</i>	シラユキウミウシ属
105 <i>Verconia laboutei</i>	Rudman, 1986 ラボウトウミウシ
106 <i>Verconia romeri</i>	Risbec, 1928 フジムスメウミウシ
107 <i>Verconia norba</i>	Marcus & Marcus, 1970 アラリウミウシ
108 <i>Verconia simplex</i>	(Pease, 1871) シロウサギウミウシ
Genus <i>Risbecia</i>	マダライロウミウシ属
109 <i>Risbecia tryoni</i>	(Garrett, 1873) マダライロウミウシ
Chromodorididae gen. et sp. indet.	属不明のイロウミウシ科の種
110 Chromodorididae gen. et sp. indet. 1	イロウミウシ科の種 1
Superfamily Phyllidioidea	イボウミウシ上科
Family Dendrodorididae	クロシタナシウミウシ科
Genus <i>Phyllidia</i>	タテヒダイボウミウシ属
111 <i>Phyllidia coelestis</i>	Bergh, 1905 ソライロイボウミウシ
112 <i>Phyllidia exquisita</i>	Brunckhorst, 1993 ボンジイボウミウシ
113 <i>Phyllidia ocellata</i>	Cuvier, 1804 キイロイボウミウシ
114 <i>Phyllidia picta</i>	(Pruvot-Fol, 1957) フリエイボウミウシ
115 <i>Phyllidia polkadotsa</i>	Brunckhorst, 1993 ボルカドットイボウミウシ

Table 1. continued

Order Nudibranchia 裸鰓目	
Superfamily Phyllidioidea	イボウミウシ上科
Family Dendrorodidae	クロシタナシウミウシ科
Genus <i>Phyllidiella</i>	コイボウミウシ属
116 <i>Phyllidiella granulata</i>	Brunckhorst, 1993 ハイイロイボウミウシ
117 <i>Phyllidiella pustulosa</i>	(Cuvier, 1804) コイボウミウシ
Genus <i>Phyllidiopsis</i>	アデヤカイボウミウシ属
118 <i>Phyllidiopsis annae</i>	Brunckhorst, 1993 アンナイボウミウシ
119 <i>Phyllidiopsis pipeki</i>	Brunckhorst, 1993 ハイベックイボウミウシ
120 <i>Phyllidiopsis striata</i>	Bergh, 1888 シロウネイボウミウシ
Genus <i>Reticulidia</i>	ユキヤマイボウミウシ属
121 <i>Reticulidia fungia</i>	Brunckhorst & Gosliner in Brunckhorst, 1993 ユキヤマウミウシ
Phyllidiidae gen. et sp. indet.	属不明のイボウミウシ科の種
122 Phyllidiidae gen. et sp. indet. 1	スミツキイボウミウシ
Suborder Dexiarchia (=Acteniidae)	無鰓亜目
Infraorder Cladobranchia 下目	
Parvorder [unassigned] Cladobranchia	所属不明のCladobranchia小目
Family Dotidae	マツカサウミウシ科
Genus <i>Kabeiro</i>	ナナフシウミウシ属
123 <i>Kabeiro phasmida</i>	Shipman and Gosliner, 2015 ナナフシウミウシ
124 <i>Kabeiro</i> sp. 1	ナナフシウミウシ属の1種 1
125 <i>Kabeiro</i> sp. 2	ナナフシウミウシ属の1種 2
Family Madellidae	シヨウジョウウミウシ科
Genus <i>Madrella</i>	シヨウジョウウミウシ属
126 <i>Madrella ferruginosa</i>	Alder & Hancock, 1864 シヨウジョウウミウシ
Parvorder Euarminida	タテジマウミウシ小目
Superfamily Arminoidea	タテジマウミウシ上科
Family Arminidae	タテジマウミウシ科
Genus <i>Dermatobranchus</i>	オトメウミウシ属
127 <i>Dermatobranchus fasciatus</i>	Gosliner & Fahey, 2011 ミルクオトメウミウシ
Parvorder Dendronotida	スギノハウミウシ小目
Superfamily Tritonioidae	ホクヨウウミウシ上科
Family Bornellidae	ユビウミウシ科
Genus <i>Bornella</i>	ユビウミウシ属
128 <i>Bornella anguilla</i>	Johnson, 1984 ヒオドシユビウミウシ
Family Lomanotidae	ロマンノータス科
Genus <i>Lomanotus</i>	ロマンノータス属
129 <i>Lomanotus vermiformis</i>	Eliot, 1908 ゼンチュウウミウシ
Family Scyllaeidae	オキウミウシ科
Genus <i>Crosslandia</i>	コチョウウミウシ属
130 <i>Crosslandia</i> sp.	シロスジコチョウウミウシ
Family Tritoniidae	ホクヨウウミウシ科
Genus <i>Tritoniopsis</i>	シロハナガサウミウシ属
131 <i>Tritoniopsis elegans</i>	(Audouin in Savigny, 1826) ユビノウハナガサウミウシ
Parvorder Aeolidida	ミノウミウシ小目
Superfamily Flabellinoidea	サキシマミノウミウシ上科
Family Flabellinidae	サキシマミノウミウシ科
Genus <i>Flabellina</i>	サキシマミノウミウシ属
132 <i>Flabellina exoptata</i>	Gosliner & Willan, 1991 アデヤカミノウミウシ
133 <i>Flabellina macassarana</i>	Bergh, 1905 サキシマミノウミウシ
134 <i>Flabellina rubropurpurata</i>	Gosliner & Willan, 1991 ルージュミノウミウシ
135 <i>Flabellina</i> sp. 2	ハレギミノウミウシ
Superfamily Fionidae	ヒダミノウミウシ上科
Family Fionidae	ヒダミノウミウシ科
Family Eubranchidae	ホリミノウミウシ科
Genus <i>Eubranchus</i>	ホリミノウミウシ属
136 <i>Eubranchus mandapamensis</i>	(Rao, 1968) ツノゲホリミノウミウシ
137 <i>Eubranchus</i> sp. 1	ターコイズミノウミウシ
138 <i>Eubranchus</i> sp. 2	ビナクルミノウミウシ
139 <i>Eubranchus</i> sp. 3	ホリミノウミウシ属の1種
Family Tergipedidae	オシヨロミノウミウシ科
Genus <i>Cuthona</i>	オシヨロミノウミウシ属
140 <i>Cuthona</i> sp. 1	オシヨロミノウミウシ属の1種 1
141 <i>Cuthona</i> sp. 2	オシヨロミノウミウシ属の1種 2
Genus <i>Trinchesia</i>	トリンケシア属
142 <i>Trinchesia acinosa</i>	(Risbec, 1928) オレンジミノウミウシ
Superfamily Aeolidioidea	オオミノウミウシ上科
Family Facelinidae	ヨツスジミノウミウシ科
Genus <i>Caloria</i>	ヒバサミノウミウシ属
143 <i>Caloria indica</i>	(Bergh, 1896) ヒバサミノウミウシ
144 <i>Caloria</i> sp.	リンカミノウミウシ
Genus <i>Cratena</i>	ハクセンミノウミウシ属
145 <i>Cratena</i> sp.	ネアカミノウミウシ

Table 1. continued

Order Nudibranchia	裸蛭目
Suborder Dexiarchia (=Acteniidae)	無蛭亜目
Infraorder Cladobranchia	下目
Parvorder Aeolidida	ミノウミウシ小目
Superfamily Aeolidioidea	オオミノウミウシ上科
Family Facelinidae	ヨツスジミノウミウシ科
Genus <i>Caloria</i>	ヒブサミノウミウシ属
143 <i>Caloria indica</i> (Bergh, 1896)	ヒブサミノウミウシ
144 <i>Caloria</i> sp.	リンカミノウミウシ
Genus <i>Cratena</i>	ハクセンミノウミウシ属
145 <i>Cratena</i> sp.	ネアカミノウミウシ
Genus <i>Herviella</i>	ヤツミノウミウシ属
146 <i>Herviella mietta</i> Er. Marcus & J. B. Burch, 1965	ミエッタミノウミウシ
147 <i>Herviella</i> sp.	ヤツミノウミウシ属の1種
Genus <i>Phidiana</i>	フィディアナ属
148 <i>Phidiana anulifera</i> (Baba, 1949)	シヤクジョウミノウミウシ
149 <i>Phidiana</i> sp.	フィディアナ属の1種
Genus <i>Pteraeolidia</i>	ムカデミノウミウシ属
150 <i>Pteraeolidia</i> cf. <i>semperi</i> (Bergh, 1870) B sensu Yorifuji et al., 2012	オオムカデミノウミウシ
Family Aeolidiidae	オオミノウミウシ科
Genus <i>Baeolidia</i>	バエオリディア属
151 <i>Baeolidia variabilis</i> Carmona, Pola, Gosliner & Cervera, 2014	チャカミノモドキ
152 <i>Baeolidia rieae</i> Carmona et al., 2014	ウテンミノウミウシ
Genus <i>Bulbaeolidia</i>	ブルバエオリディア属
153 <i>Bulbaeolidia alba</i> (Risbec, 1928)	シロミノウミウシ
Genus <i>Cerberilla</i>	カスミノウミウシ属
154 <i>Cerberilla annulata</i> (Quoy & Gaimard, 1832)	マエダカスミノウミウシ
Family Pleurolidiidae	セスジスミノメミノウミウシ科
Genus <i>Protaeolidiella</i>	スミノメミノウミウシ属
155 <i>Protaeolidiella atra</i> Baba, 1955	スミノメミノウミウシ
Aeolidida fam., gen. et sp. Indet.	科不明のミノウミウシ小目の種
156 Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 1	リーフミノウミウシ
157 Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 2	ミノウミウシ小目の1種 2
158 Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 3	ネギシミノウミウシ
159 Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 4	ミノウミウシ小目の1種 4
160 Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 5	クサミノウミウシ
161 Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 6	ガヒミノウミウシ
162 Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 7	キツネビミノウミウシ

謝辞

Acknowledgements

本調査を行うにあたり、ネイティブシー奄美のスタッフの皆様、およびアマミエンスの金原広幸氏にご協力いただいた。ここに記して謝意を表します。

引用文献

References

- Cella, K., L. Carmona, I. Ekimova, A. Chichvarkhin, D. Schepetov and T. Gosliner. 2016. A Radical Solution: The Phylogeny of the Nudibranch Family Fionidae. PLoS ONE, 11 (12): e0167800.
- Gosliner, T., D. Behrens and Á. Valdés. 2015. Nudibranch & Sea Slug Identification Indo-Pacific. New World Publications, 408 pp.
- Hirano, Y.J., C.D. Trowbridge and Y.M. Hirano. 2013. Endo-phytophagy-a Remarkable Feeding Mode. Venus, 71 (3-4): 212-216.
- Knutson, V. and T. Gosliner. 2014. Three new species of *Gymnodoris* Stimpson, 1855

- (Opisthobranchia, Nudibranchia) from the Philippines. The Coral Triangle: The 2011 Hearst Philippine Biodiversity Expedition: 129-143.
- Rudman, B. 2001. *Herviella mietta* Marcus & Burch, 1965. The sea Slug Forum. Available in <http://www.seaslugforum.net/find/hervmietet>
- 中野理枝. 2004. 本州のウミウシ. ラトルズ, 304 pp.
- 中野理枝. 2015. ベータ版日本のウミウシ version 6. 日本のウミウシ制作委員会; 1196 pp.
- 小野篤司. 2004. 沖縄のウミウシ. ラトルズ, 304 pp.
- Shipman, C. and T. Gosliner. 2015. Molecular and morphological systematics of *Doto* Oken, 1851 (sic) (Gastropoda: Heterobranchia), with descriptions of five new species and a new genus. *Zootaxa*, 3973 (1): 57–101.
- Too, C.C., C. Carlson, P.J. Hoff and M.A.E. Malaquias. 2014. Diversity and systematics of Haminoeidae gastropods (Heterobranchia: Cephalaspidea) in the tropical West Pacific Ocean: new data on the genera *Aliculastrum*, *Atys*, *Diniatys* and *Liloa*. *Zootaxa*, 3794 (3): 355–392.
- Yorifuji, M., Takeshima, H., Mabuchi, K., and Nishida, M. 2012. Hidden diversity in a reef-dwelling sea slug, *Pteraeolidia ianthina*, (Nudibranchia, Aeolidina) in the northwestern Pacific. *Zoological Science*. 29: 359-367.
- Wilson, N. and I. Burghardt. 2015. Here be dragons – phylogeography of *Pteraeolidia ianthina* (Angas, 1864) reveals multiple species of photosynthetic nudibranchs (Aeolidina: Nudibranchia). *Zoological Journal of the Linnean Society*, 175:119–133.

図版 1 の説明
Explanation of plate 1

- A. *Alys multistriatus* Schepman, 1913; アミメタマゴガイ; Date: 22 April 2016; Site: Tatsugo Bay; Depth: 10 m; Length: 5 mm; Water temperature: 22 degrees.
- B. *Aglaja* sp.; キホシキセワタ; Date: 20 April 2016; Site: Tatsugo Bay; Depth: 5 m; Length: 4 mm; Water temperature: 22 degrees.
- C. *Ercolania* sp.; バロニアモウミウシ; Date: 23 April 2016; Site: Off of Kurasaki; Depth: 12 m; Length: 7 mm; Water temperature: 22 degrees.
- D. *Trapania darvelli* Rudman, 1987; ダーベルウミウシ; Date: 20 April 2016; Site: Tatsugo Bay; Depth: 5m; Length: 5mm; Water temperature: 22 degrees.
- E. *Trapania* sp.; ツガルウミウシ属の1種; Date: 21 April 2016; Site: Kurasahi Beach; Depth: 5 m; Length: 10 mm; Water temperature: 22 degrees.
- F. *Gymnodoris tuberculosa* Knutson & Gosliner, 2014; ツブツブキヌハダウミウシ; Date: 22 April 2016; Site: Tatsugo Bay; Depth: 8 m; Length: 25 mm; Water temperature: 22 degrees.
- G. *Gymnodoris* sp. 2; キヌハダウミウシ属の1種2; Date: 19 April 2016; Site: Off of Kasari Bay; Depth: 10 m; Length: 10 mm; Water temperature: 22 degrees.
- H. *Gymnodoris* sp. 3; キヌハダウミウシ属の1種3; Date: 22 April 2016; Site: Tatsugo Bay; Depth: 7 m; Length: 18 mm; Water temperature 22 degrees.



図版 2 の説明
Explanation of plate 2

- A. *Polycera* sp.; フジタウミウシ属の 1 種; Date: 7 April 2016; Site: Tatsugo Bay; Depth: 10 m; Length: 7 mm; Water temperature: 22 degrees.
- B. *Plocamopherus maculapodium* Vallés & Gosliner, 2006; アカネヒカリウミウシ; Date: 6 March 2005; Site: Tebiro Beach; Depth: 3 m; Length: 20 mm; Water temperature: 20 degrees.
- C. *Thordisa* sp.; ビロウドウミウシ属の 1 種; Date: 22 April 2016; Site: Tatsugo Bay; Depth: 12 m; Length: 22 mm; Water temperature: 22 degrees.
- D. *Platydoris sanguinea* Bergh, 1905; スオウウミウシ; Date: 22 April 2016; Site: Off Kurasaki; Depth: 12 m; Length: 30 mm; Water temperature: 22 degrees.
- E. *Ardeadoris symmetrica* (Rudman, 1990); アカネサスウミウシ; Date: 24 April 2016; Site: Off Kasari Bay; Depth: 33 m; Length: 20 mm; Water temperature: 22 degrees.
- F. *Ardeadoris tomsmithi* (Bertsch & Gosliner, 1989); キンゴマイロウミウシ; Date: 24 April 2016; Site: Off Kasari Bay; Depth: 16 m; Length: 21 mm; Water temperature: 22 degrees.
- G. *Goniobranchus preciosus* (Kelaart, 1858); ハスイロウミウシ; Date: 20 April 2016; Site: Tatsugo Bay; Depth: 15 m; Length: 15 mm; Water temperature: 22 degrees.
- H. *Goniobranchus* sp.; ウスクレナイウミウシ; Date: 20 April 2016; Site: Tatsugo Bay; Depth: 15m; Length: 7 mm; Water temperature: 22 degrees.



図版 3 の説明
Explanation of plate 3

- A. *Hypselodoris emma* Rudman, 1977; エマイロウミウシ; Date: 5 March 2010; Site: Tebiro Beach; Depth: 10 m; Length: 20 mm; Water temperature: 19 degrees.
- B. *Hypselodoris* sp 1.; シロウネイロウミウシ; Date: 10 July 2003; Site: Kurasaki Beach; Depth: 8 m; Length: 13 mm; Water temperature: 28 degrees.
- C. *Hypselodoris* sp 2.; コナユキイロウミウシ; Date: 23 April 2016; Site: Off Kurasaki; Depth: 15 m; Length: 9 mm; Water temperature: 22 degrees.
- D. *Mexichromis lemniscata* (Quoy & Gaimard, 1832); リボンイロウミウシ; Date: 27 June 2016; Site: Yadon Beach; Depth: 3 m; Length: 12 mm; Water temperature: 26 degrees.
- E. *Verconia laboutei* Rudman, 1986; ラボウトウミウシ; Date: 22 April 2016; Site: Off Kurasaki; Depth: 12 m; Length 20 mm; Water temperature: 22 degrees.
- F. Chromodorididae gen. et sp. indet.; 属不明のイロウミウシ科の 1 種; Date: 15 April 2006; Site: Kurasaki Beach; Depth: 10 m; Length: 5 mm; Water temperature: 22 degrees.
- G. *Kabeiro phasmida* Shipman and Gosliner, 2015; ナナフシウミウシ; Date: 20 March 2009; Site: Kurasaki Beach; Depth: 1 m; Length: 10 mm; Water temperature: 21 degrees.
- H. *Kabeiro* sp. 1; ナナフシウミウシ属の 1 種 1; Date: 24 May 2003; Site: Kurasaki Beach; Depth: 1 m; Length: 15 mm; Water temperature: 24 degrees.

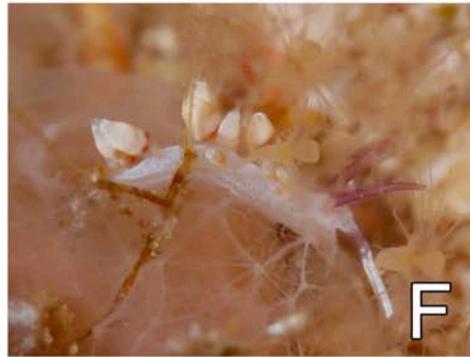
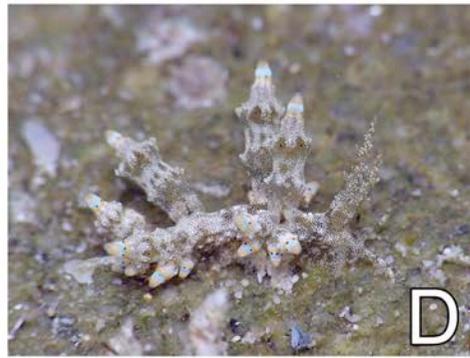


図版 4 の説明
Explanation of plate 4

- A. *Kabeiro* sp. 2; ナナフシウミウシ属の 1 種 2; Date: 18 April 2005; Site: Kurasaki Beach; Depth: 3 m; Length: 11 mm; Water temperature: 22 degrees.
- B. *Lomanotus vermiformis* Eliot, 1908; ゼンチュウウミウシ; Date: 8 October 2016; Site: Kurasaki Beach; Depth: 17 m; Length: 18 mm; Water temperature: 28 degrees.
- C. *Crosslandia* sp.; シロスジコチョウウミウシ; Date: 25 March 2006; Site: Tebiro Beach; Depth: 4 m; Length: 18 mm; Water temperature: 20 degrees.
- D. *Eubranchus rubropunctatus* Edmunds, 1969; ツノトゲホリミノウミウシ; Date: 4 May 2006; Site: Kurasaki Beach; Depth: 2 m; Length: 10 mm; Water temperature: 24 degrees.
- E. *Eubranchus* sp. 1; ピナクルミノウミウシ; Date: 12 December 2003; Site: Kurasaki Beach; Depth: 5 m; Length: 6 mm; Water temperature: 23 degrees.
- F. *Eubranchus* sp. 2; ホリミノウミウシ属の 1 種 2; Date: 24 April 2016; Site: Off Kasari Bay; Depth: 18 m; Length: 4 mm; Water temperature: 22 degrees.
- G. *Cuthona* sp. 1; オシヨロミノウミウシ属の 1 種 1; Date: 21 April 2016; Site: Kurasaki Beach; Depth: 10m; Length: 4 mm; Water temperature: 22 degrees.
- H. *Cuthona* sp. 2; オシヨロミノウミウシ属の 1 種 2; Date: 21 April 2016; Site: Tatsugo Bay; Depth: 10m; Length: 3 mm; Water temperature: 22 degrees.

图版 4

PLATE 4



図版 5 の説明
Explanation of plate 5

- A. *Trinchesia acinosa* (Risbec, 1928); オレンジミノウミウシ; Date: 21 April 2016; Site: Kurasaki Beach; Depth: 8 m; Length: 15mm; Water temperature: 22 degrees.
- B. *Caloria* sp.; リンカミノウミウシ; Date: 2 February 2004; Site: Kurasaki Beach; Depth: 5 m; Length: 12 mm; Water temperature: 22 degrees.
- C. *Herviella mietta* Er. Marcus & J. B. Burch, 1965; ミエッタミノウミウシ; Date: 20 March 2005; Site: Tatsugo Bay; Depth: intertidal; Length: 14 mm; Water temperature 19 degrees.
- D. *Herviella* sp.; ヤツミノウミウシ属の 1 種; Date: 1 January 2004; Site: Uten; Depth: intertidal; Length: 7 mm; Water temperature: 21 degrees.
- E. *Phidiana* sp. フィディアナ属の 1 種; Date: 24 April 2016; Site: Coral; Depth: 10 m; Length: 7 mm; Water temperature: 22 degrees.
- F. *Pteraeolidia* cf. *semperi* (Bergh, 1870) B sensu Yorifuji *et al.*, 2012; オオムカデミノウミウシ; Date: 24 May 2003; Site: Kurasaki Beach; Depth: 10 m; Length: 50 mm; Water temperature: 24 degrees.
- G. *Baeolidia variabilis* Carmona, Pola, Gosliner & Cervera, 2014; チャカミノモドキ; Date: 13 January 2004; Site: Tebiro Beach; Depth: 4 m; Length: 5 mm; Water temperature: 21 degrees.
- H. *Baeolidia rieae* Carmona *et al.*, 2014; ウテンミノウミウシ; Date: 25 September 2004; Site: Uten; Depth: 7 m; Length: 8 mm; Water temperature: 27 degrees.



図版 6 の説明
Explanation of plate 6

- A. *Cerberilla annulata* (Quoy & Gaimard, 1832); マエダカスミミノウミウシ; Date: 14 January 2009; Site: Tebiro Beach; Depth: 1 m; Length: 30 mm; Water temperature: 20 degrees.
- B. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 1; リーフミノウミウシ; Date: 12 December 2003; Site: Off of Tebiro Beach; Depth: 10 m; Length: 8 mm; Water temperature: 23 degrees.
- C. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 2; ミノウミウシ小目の 1 種 2; Date: 18 April 2004; Site: Kurasaki Beach; Depth: 11 m; Length: 5 mm; Water temperature: 22 degrees.
- D. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 3; ネギシミノウミウシ; Date: 3 May 2004; Site: Kurasaki Beach; Depth: 3 m; Length: 6 mm; Water temperature: 23 degrees.
- E. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 4; ミノウミウシ小目の 1 種 4; Date: 19 June 2004; Site: Tatsugo Bay; Depth: 10 m; Length: 11 mm; Water temperature: 25 degrees.
- F. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 5; クサマミノウミウシ; Date: 28 January 2017; Site: Tatsugo Bay; Depth: 7 m; Length: 5 mm; Water temperature: 21 degrees.
- G. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 6; ガヒミノウミウシ; Date: 10 April 2005; Site: Kurasaki Beach; Depth: 9 m; Length: 10 mm; Water temperature: 21 degrees.
- H. Aeolidida fam., gen. et sp. Indet. 7; キツネビミノウミウシ; Date: 20 March 2005; Site: Tatsugo Bay; Depth: 1 m; Length: 10 mm; Water temperature: 19 degrees.

